

ふれあいコラム

今、話題の人物をクローズアップ!

[>> バックナンバー](#)

2012年7月号 日本にメダルを持ち帰りたい。デフリンピックに再挑戦

聴覚障害者
アスリート **高田 裕士さん**



デフリンピックをご存知ですか？

1924年にフランスで始まった聴覚障害者のための国際総合競技大会です。港区在住の高田さんは、陸上400m走で日本歴代2位の記録を持ち、09年の台北大会に出場した聴覚障害者アスリート。次回の大会出場を目指す思いを伺いました。

——デフリンピックは、どのような大会ですか？

聴覚障害があるアスリートのためのオリンピックで、オリンピックと同等のルールで実施されます。ぼくの種目は陸上競技ですが、ピストルのスタート音が聞こえません。そこで信号機のようなランプが使われます。赤のランプがいたら「位置について」、黄色が「用意」、緑が光ったらピストルのバンと同じで「スタート」です。目で見てわかるよう、音を視覚化する配慮がされています。

09年の台北大会では、大会直前に肉離れをおこし予選敗退。リレーは5位入賞でしたが、メダルを持ち帰れず、悔しい思いをしました。

——次の目標は、13年のブルガリア・ソフィア大会出場ですか？

最終目標はやはりメダルです。メダルを日本に持って帰りたい。そのためには、まず決勝に出場できるラインに立つこと。それを現実的に見すえて、日々練習しています。

——試合前は緊張しますか？

緊張自体はどうにもならない部分がありますね。そういう時は、これまで自分がやってきたことを考えます。試合で走る以上に苦しいトレーニングをしてきたか。それまでの努力が、一番の精神安定剤ですね。

——日々のトレーニングは？

■プロフィール

1984年生まれ。陸上競技、400m走で活躍する聴覚障害者アスリート。2009年台北デフリンピック400m出場、4×400mリレー決勝5位入賞。2010年、ホシノドリームズプロジェクトドリームサポートプログラム受賞。

ブログ http://www.plus-blog.sportsnavi.com/bt_yuji/

今は、母校の横浜国立大学の陸上競技部と一緒に練習しています。彼らの目標はインカレ(全日本学生選手権)。デフリンピックとレベルが近いので、刺激を受けながら、互いに切磋琢磨しています。気をつけているのはケガをしないこと。そのため、ストレッチは人の二倍ぐらい時間をかけてやっています。

——港区にはいつからお住まいですか。

08年10月に結婚して、引っ越してきました。妻も視覚障害者(全盲)で、ロンドンのパラリンピックを目指し、夫婦で陸上競技をやっています。

家の近くには公園が2つ、川もあって、都心なのに自然が多くて良いところですよ。3歳の息子と一緒に外で遊んだりしています。トレーニング拠点への移動も便利です。港区長さん、教育長さんなど、障害者スポーツに理解と関心を示してくださっているのが、ありがたいですね。

——最後にメッセージをお願いします。

人生の中で目標を持つことがいかに重要かを伝えたい、と思います。目標をもって努力してきたことで、日本代表として走る機会をいただきました。

トレーニングは辛いことが多いですが、目標を持つことと、周りの方々の応援が励みになっています。ですから、目に見える結果を日本に持って帰りたいとがんばっています。


トロントで開催された「世界ろう者陸上競技選手権大会」の4×400mリレーに高田裕士さんが出場し、3位入賞の銅メダルを獲得されました。おめでとうございます！

[▲このページのトップへ](#)

| [個人情報保護について \[PDF\]](#) |

Kissポート財団

(公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団)
港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティーふらざ
電話: 03-5770-6837/Fax: 03-5770-6884
お問い合わせ: fureai-info@kissport.or.jp

 [Kissポート財団について](#)



このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。当財団の許可なく複製、転載は出来ません。